



第151号 令和7月13日発行
 公益社団法人石狩市シルバー人材センター
 石狩市新港南1丁目22-66
 Tel 0133-64-7771
 Fax 0133-64-7774
<https://webc.sjc.ne.jp/ishikari>



令和4年度定時総会開催

令和4年5月30日(月)、石狩商工会館3階大ホールにて、会員24名(委任状236名)が出席し、令和4年度定時総会が開催されました。総会に先立ち、永年継続会員表彰として13名、永年継続役員等表彰として3名の方々が受賞されました。また、設立30周年を記念して特別功労感謝状を1名に、在籍20年以上の会員9名に感謝状を贈呈しました。その後、渡辺理事長の挨拶、議長選出と進み議長には石王透会員を選出した後、議事に入り最初に報告事項 第1号 令和4年度事業計画、第2号 令和4年度収支予算、第3号 令和3年度補正予算の報告に続き議案第1号 令和3年度事業報告、第2号 令和3年度収支決算及び監査報告について審議を行い、出席会員からの承認を戴き、原案のとおり決議されました。次に本年度が役員改選期にあたることから議案第3号で役員改選について審議を行い、理事長の渡辺喬氏の退任、理事に岩崎雄三氏、石塚栄子氏、戎屋孝一氏、高橋準之氏、石神直登氏、菊地正明氏、今井朝子氏、土岐陽子氏、宮下光正氏、大林啓二氏、鎌田敏一局長の11名を、監事に加藤秀樹氏、本田学氏の2名の選任について承認されました。最後にシルバー人材センター職員の鈴木大樹主査が代表して安全就業宣言を行い閉会しました。

■理事長、副理事長、及び常務理事の選出について

同日開催された理事会において、理事長に岩崎雄三理事、副理事長に菊地正明理事、常務理事に鎌田敏一理事が選出されました。



理事長就任の挨拶 岩崎 雄三

令和4年度定時総会後の理事会において新たに理事長就任しました岩崎雄三です。就任にあたり一言、挨拶を申し上げます。

初めに前渡辺喬理事長には厳しい社会、経済環境の中、永年にわたりセンターの事業運営にご尽力いただき深く感謝を申し上げます。

さて、センターは昨年度設立30周年を迎え、これまで在籍された会員を初め、多くの家庭、企業等の厚いご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

これからのセンターの取り巻く環境は、急速な少子高齢化社会が進展する中、生産人口の減少や定年退職年齢の引き上げなど、社会全体の雇用環境の大きな変化に伴い、就業機会の確保や会員の入会者は従来の65歳以下が大幅な減少傾向で会員の増加は厳しい状況が予想されます。

少子高齢化の社会環境の中ですが、働く意欲のある高齢者が、永年培ってきた知識や経験を生かし年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」のニーズが今後も求められることから、地域社会の担い手として期待されている福祉家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援総合事業等の積極的な活用を通じて現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献できるような事業展開を図り、シルバー事業の「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、地域社会に密着したシルバー人材センターを目指し働きたい高齢者の就業機会の確保に取り組んで参ります。

最後に、新しい理事体制になりますが引き続き会員のご支援をお願い申し上げますとともに、今後とも会員皆さま方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ挨拶といたします。



技能研修会開催 剪定講習会



令和4年6月9日(木)、剪定作業を永く務めている及川正治会員を講師として会員4名参加のもと実習形式で開催されました。会場では庭木を教材として、樹木の特性や剪定適期、剪定方法の解説を受けた後、剪定ばさみを入れていました。

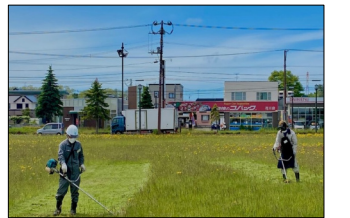
この職種は知識や技量が求められますが、できることを一つ一つ着実に習得し、積み上げていくことがひとり立ちへの道程となります。技能講習後すぐに就業することに不安があることと思います。そこで「就業継承システム」であるベテラン会員との共同作業で、お客さまとの接し方や作業の進め方等を経験し、センターの主要職種を担う一員として活躍を期待しています。



草刈講習会



令和4年6月13日(月)、鈴木大樹主査が講師となり、会員4名参加のもとセンター会議室と北7条市有地で開催されました。刈払機・芝刈機の特長、安全面についての考察などの講義の後、操作方法について実習をしました。特に刈払機は刃が障害物に当たった時の反動や灯油配管の切断への配慮など、注意すべき点が多く機械を操作して初めて分かることが実習で体験できたと思います。センターではこの講習会をきっかけにひとりでも多くの方が、就業へと結びつくようフォローいたします。



お仕事のご依頼お待ちしております!!

刃物とぎ 畑起こし
 軽易な大作業
 荷物運び



窓拭き
 屋外清掃

7月は安全・適正就業強化月間として取り組みます!

全国統一スローガン

いつまでも 働く喜び 無事故から



ハマボウフウ収穫・販売



シルバー親睦会で栽培をしている、ハマボウフウの収穫及び販売を行いました。令和4年5月23日(月)に親睦会役員及び職員、さらにはボランティア会員による収穫を行いました。畝の数を増やして株分けをした成果で予定よりも収穫量が増え、昨年は1袋250gでしたが、1袋300gに増量して、袋詰め作業をしました。翌日、連絡所で販売し、準備した47袋は完売となりました。まだまだ課題の多いハマボウフウの栽培ですが、来年も皆様のもとへお届けできればと思っております。次回も多くの皆様のご協力・ご参加をお願いします。



親睦会パークゴルフ大会開催!!



令和4年6月27日(月)に春季親睦会パークゴルフ大会が開催され、29名(男性22名、女性7名)の親睦会会員が参加しました。プレー開始時点では曇り空だったものの、徐々に晴れ間も見えパークゴルフ日和となりました。今大会は、上位各賞のほかブービー賞やお楽しみ賞なども用意して、はまなすコースでプレーし、橋本直起会員が優勝しました。初めてパークゴルフをする方も、ベテランの方が一緒についてプレーしますので、秋季大会にぜひ参加してみませんか。

春季大会順位

優勝 橋本 直起 準優勝 對馬 三治 3位 吉田 正志



2022クリーンアップ日本海 in ISHIKARI

毎年恒例のクリーンアップ日本海 in ISHIKARIが令和4年7月6日(水)にあそび一ち石狩で行われました。青空が広がり、気温が高くなる予報でしたが、22名(会員15名、役員5名、職員2名)が集まり、元気に活動しました。あそび一ち石狩は、年間約20万人もの海水浴客が訪れ、道内1位の人気を誇る海水浴場です。7月9日(土)の海開きに向けて、ごみ拾いをしてとてもきれいなビーチになりました。協力いただいた皆さまどうもありがとうございました。



理事会報告 事業実績

第1回理事会が令和4年4月27日(水)13時30分からセンター会議室で行われました。理事長の挨拶の後、報告事項として、1)諸般の報告、2)会員の入退会、3)補正予算について報告されました。協議事項は1)令和4年度定時総会の開催、2)令和3年度事業報告、3)令和3年度収支決算報告、4)理事及び監事候補者の決定、5)令和4年度表彰、6)文書の廃棄について、すべて原案の通り可決されました。

第2回理事会が同5月30日(月)15時20分から石狩商工会館会議室で行われました。議案は 第1号 定款第20条第2項の規定に基づく理事長、副理事長及び常務理事の選定、第2号 理事部会の構成についてで、すべて原案のとおり可決されました。

第3回理事会が同6月29日(水)13時30分からセンター会議室にて行われました。報告事項は1)諸般の報告、2)会員の入退会について、3)石狩浜海水浴駐車場整理業務について、議案は、1)令和4年度普及啓発及びボランティア活動についてで、原案のとおり可決されました。

ホームページの中でもお知らせしておりますが、この会報への寄稿を大募集しています。お題は自由です。「今 熱中していること」「うちのペット自慢」等、なんでも構いません。是非、ご協力くださり、楽しい誌面にしていきませんか?



寄稿お待ちしておりますよ!

1 入会状況について (6月末現在)
 4月 6名(男性 6名 女性 0名)
 5月 4名(男性 2名 女性 2名)
 6月 3名(男性 1名 女性 2名)
 2 会員数 (単位:人)

	前年度末	入 会	退 会	6月末現在
男 性	221	9	12	218
女 性	114	4	6	112
合 計	335	13	18	330

3 受託事業実績 (単位:千円)

	当年6月末	前年6月末	差 異
公 共	23,181	19,918	3,263
民間企業	9,438	9,890	△452
家 庭	5,403	5,612	△209
合 計	38,022	35,420	2,602

4 就業率(受託・派遣事業) (6月末現在)
69.1%

5 一般労働者派遣事業実績 (6月末現在)
 (1)受注件数 14件 (3)就業延人日 879人日
 (2)就業実人員 34名 (4)契約金額 5,275千円

編集後記

2年前(2020年)の夏、日本は大きな躍動が生まれるはずだった。新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍に世界は失速してしまった。しかし、この2年の間、疲弊する日常の中で、私たちははっきりわかったことがある。「動く」ということが私たち人間の根源的な願望であること。そして、私たちの生活が「動く」ことによって支えられてきたことである。▼3年目の今夏、未だコロナの終息には至っていないが、全国の新規感染者数は減少傾向を示してきた。政府のコロナ対策もゼロコロナから、ウィズコロナ(コロナと共存する社会)への適切な対応へと変化しつつ、最近では、アフターコロナ(コロナの終息後)を見据えた社会の動きも見え始めてきた。▼今回の参議院議員選挙の争点は、「物価高」と「安全保障」。「コロナ対策」は鳴りを潜めてしまった。現在も道内の新規感染者数は減少してるとはいえ3桁台を続けている。決して予断は許されないが、私たち高齢期における孤独感・孤立感を強めるコロナ禍の出来事がストレスとなっていたことは否めない。▼これからは、コロナと共存しながら、立ち止まることなく、「動く」ということを強く意識して、新しいやり方で元気に日常生活を過ごしてはいかげしょう。きっと日常の景色は変わっていくと思います。(記 大林)

